

記者発表資料

国道4号^{うじえ やいた}氏家矢板バイパス
(^{かますさか}さくら市蒲須坂～^{おつはた}矢板市乙畑)の
約1.6kmが12月10日に4車線になります。

- 国道4号氏家矢板バイパスは、栃木県さくら市～矢板市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を目的としたバイパス及び現道拡幅事業です。
- 昨年7月にさくら市蒲須坂～矢板市乙畑間のバイパス区間約4.3kmが暫定2車線で開通しました。そのうち、約2kmについては、今年4月に4車線になりました。
このたび、さくら市蒲須坂～矢板市乙畑の約1.6kmが12月10日に4車線になります。

【開通日時】 平成22年12月10日(金) 正午

**【開通区間】 国道4号氏家矢板バイパス
(さくら市蒲須坂～矢板市乙畑)
約1.6km(4車線)**

※バイパス区間約4.3kmの暫定2車線での開通により、氏家矢板バイパスに約2万台の交通が転換しています。

※引き続き、全線4車線化に向けた整備を実施します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ

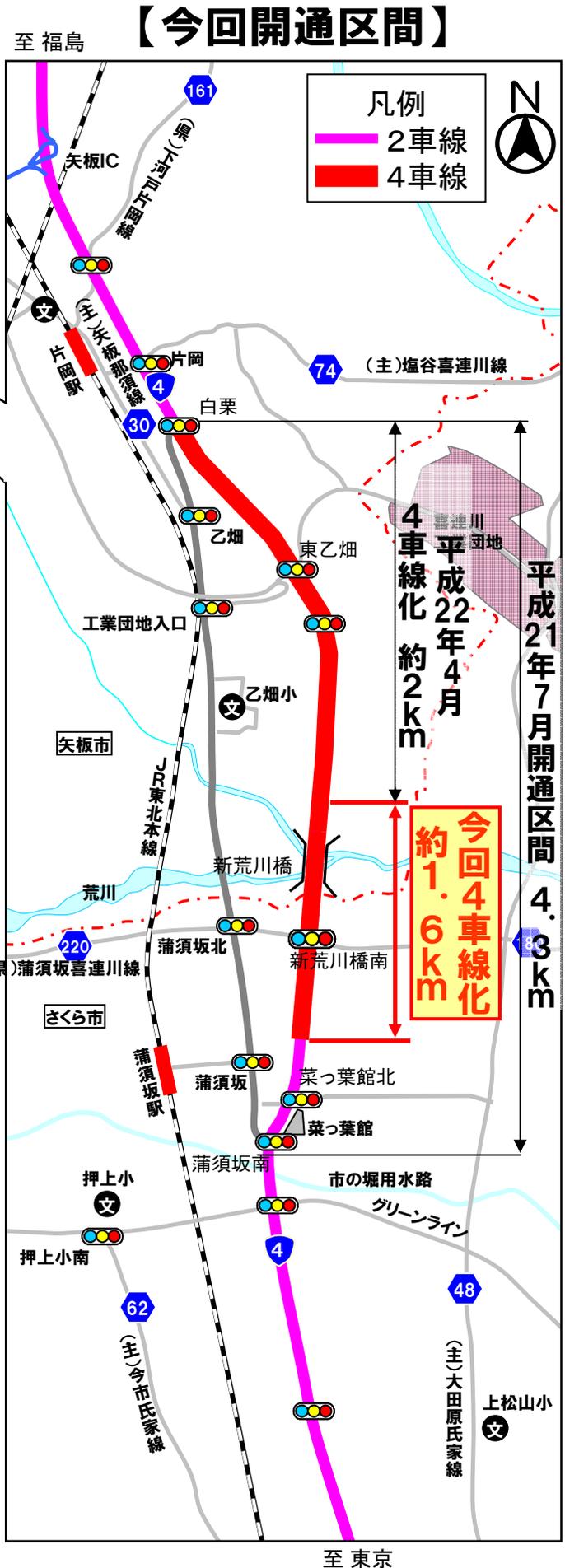
問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話 028-638-2181 (代表)

副所長 ^{はやの}早野 ^{ひでと}英人 計画課長 ^{おおさと}大里 ^{ひろと}弘人

今回の開通区間について(さくら市蒲須坂~矢板市乙畑)

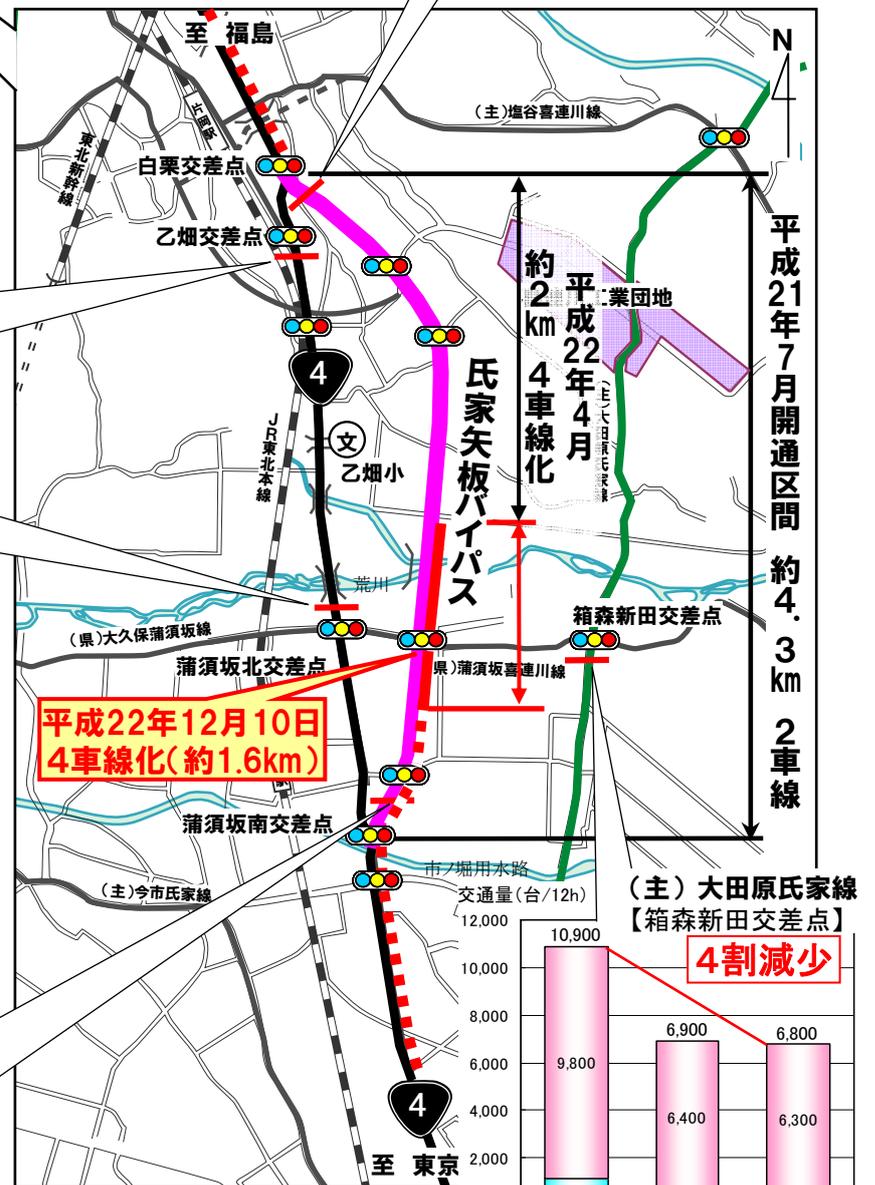
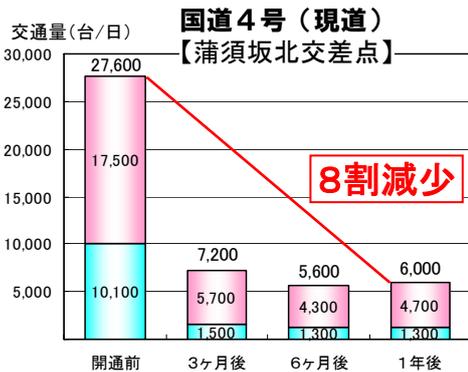
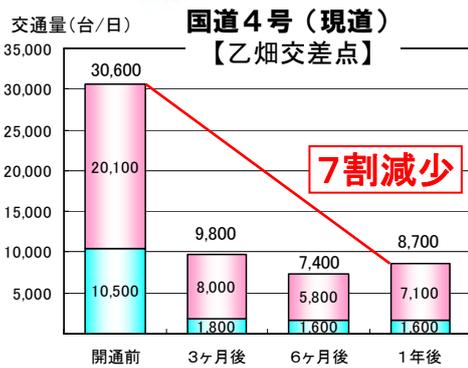
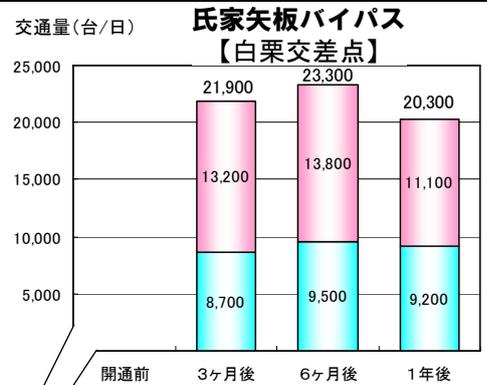


平成22年3月

①氏家矢板バイパスに約2万台/日の交通が転換

- ・ 開通1年後、氏家矢板バイパスに、19,900~20,300台/日の交通が転換しています。
- ・ 国道4号(現道)の交通量は約7割~8割減少、バイパスに並行する(主)大田原氏家線の交通量も約4割減少しました。

【バイパスの状況写真】



開通前：平成21年6月23日(火)
3ヶ月後：平成21年10月13日(火)
6ヶ月後：平成22年2月24日(水)
1年後：平成22年7月6日(火)

大型車 普通車

②国道4号（現道）の大型車交通量が約8～9割減少

・開通1年後、国道4号(現道)では大型車交通量が最大約8～9割減少しています。

③国道4号（現道）の交通事故が約4割減少

・バイパスに交通が転換したことにより、現道の交通事故が減少しています。

